

令和4年度事業報告書 <あじさい園居宅介護支援事業所>

**テーマ：非常災害（感染症・自然）の避難計画に基づき、安全・安心あるサービスの提供と
人材の確保に努める**

～安心して働ける職場として利用者・職員双方への優しいケアの実現～

**サブテーマ：日常的に地域や他事業所などと繋がり、ケア会議に参加することで課題解決に繋がられるように
在宅サービスの推進に努める。**

1. 公平中立なケアマネジメント支援を行う

- ①コロナ感染拡大防止のためデイサービスやショートステイのサービスが坂井健康センター指示により、中止になる状況で、日常生活動作の低下や病状の悪化、認知症の進行を防ぐよう努め、本人・家族・各関係事業所と緊急に相談を行い、コロナ発生外のサービスの調整が多く、訪問サービス等を利用した。
- ②客観的な観点で支援する意識を持ち、視野を広めて本人を中心とした自立支援の方法や、家族・社会資源などのインフォーマルサービスを取り入れて、ケアプラン作成し生活支援に繋がった。

2. 福祉保健、医療全般に関わる連携を積極的に進める

- ①コロナ過で入院すると、面会中止の現状もあり、退院に向けターミナルケアの受け入れ件数が増えた。
- ②利用者の認知症や精神疾患。また主介護者が精神疾患である特殊な対応では、行政や三国包括支援センター・担当医と相談を繰り返して連携を図り、在宅生活を継続する事ができた。

3. 資質向上、業務の効率化

- ①毎週の事業所内研修や現在、抱える処遇困難ケースと過去に関わったケースの、事例検討会を実施。
地域の社会資源（社協の事業や民間サービスなど）の情報収集を積極的に行った。
- ②主任ケアマネ更新研修は ZOOM 活用と現地集合型で修了する。外部や三国包括支援センターとの研修も定期的に参加できた。会議では、希望や地域の現状課題を話し合う機会が増え、課題の事例検討会より、民生委員や警察などの関係機関との連絡会に参加できた。